

令和 3 年度 事業計画

■基本的な考え方

急速な少子高齢化や核家族化の進行などにより、人の絆がますます希薄化している状況の中で、高齢者自らが生きがいを持って安心して生活できる環境づくりや、さらには支え合いなど地域活動の必要性が一層高まっています。

特に、昨年から新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大で、外出の自粛などにより、孤立やフレイルなどが懸念されております。

そうした中で、「健康・友愛・奉仕」の三大目標を基本活動とし、高齢者の自主的な組織として地域に活動基盤をおく老人クラブの存在意義は、大きいものがあります。

引き続き会員の拡大に取り組むとともに、若手や女性のパワーを活かして組織の活性化を図っていきます。

また、これまでの活動経験をもとに、行政や自治会、社会福祉協議会などの関係団体と共に、高齢者の暮らしやすい地域づくり活動への参画を目指していきます。

■重点事業

1 会員増強運動を推進しよう！

平成 26 年度から 5 年間の会員増強運動に取り組んでまいりました結果、減少割合がこれまでより少なくなったり、会員の増加につながった老連があるなど一定の成果も見えていますが、会員数の減少が続いており、大変厳しい状況にあります。

さらに、新型コロナウイルス感染症のため、様々な事業の中止や縮小の中、より困難な状況ですが、今後の取組みに向けての検討を行い、単位クラブの会員増を目指すとともに、解散クラブ防止と新規クラブの立ち上げに取り組み、会員増を推進していきます。

2 老人クラブも介護予防や生活支援、少子化対策の担い手になろう！

要支援者への介護予防給付（訪問・通所）について市町村は、独自の地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）を実施しています。

この事業と老人クラブ活動との関わりでは、「友愛活動」、「健康づくり活動」との関連性が高く、とりわけ友愛活動の広がりが期待されています。行政・関係者と連携し、協力して、地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）への参画を進めていきます。

また、地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）に取り組むことで、クラブの活性化を図り、会員増強運動にも弾みをつけます。

さらに、老人クラブの組織力を活かし、こどもとの交流機会をもつことで、健やかな成長を見守り、子育て支援を行うよう啓発していきます。

3 コロナ禍でも元気に過ごせるよう、健康づくりを推進していこう！

人生 100 年時代を迎え、健康寿命をのばし生き生きとした生活が送れるように健康づくりに関する地域での実践、スポーツを通じた健康づくりを推進します。

また、昨年からの新型コロナウイルス感染症による外出自粛のため、心身の衰えが懸念される中、感染予防に留意しながら工夫して健康維持に取り組むクラブ事例を情報提供し、継続的なクラブ活動を推進します。

4 若手高齢者の加入促進とニーズに合った取り組みをしよう！

若手委員が主体となったスポーツ大会や文化活動等の開催を支援していきます。これまでの交流大会では、フロッカーやボッチャ、ハイキング等を行い、会員増にもつながっています。

しかし、コロナ禍で広域での開催が難しい状況を踏まえ、市町村単独での開催も支援していきます。

5 若手・女性委員の活動の場を一層広げよう！

昨年度は、元気ハツラツ&はちきん大会の開催は中止となりましたが、今年度は感染症拡大予防対策を講じて、開催する予定です。

またパワーアップ研修会は、開催地の若手リーダーを中心に企画、運営し、老人クラブ活動の基盤となる人材を育てていきます。

■事業の推進

1 地域支え合いの推進（2,330→2,357 千円 27 千円）

地域に密着した高齢者組織のネットワークを活かし、1 人暮らしや高齢者世帯など閉じこもりがちな高齢者に情報を届けるなどの友愛活動を進めるとともに、子どもの見守りや、環境美化活動を推進し、地域の高齢者の暮らしを支える取り組みを進める。

（1）地域支え合い事業の実施

① 3 市町村老連で実施

② 1 市町村老連当たり 30,000 円以内

（2）高知県老人クラブ大会の開催

2 健康づくり・介護予防の支援（4,374→5,479 千円 1,105 千円）

人生 100 年時代を迎え、健康寿命をのばし生き生きとした生活が送れるように、健康づくりに関する地域での実践、スポーツを通じた健康づくりを推進する。

(1) 健康づくりリーダー養成事業の実施

新型コロナウイルス感染予防のため、単位クラブ等での少人数で健康づくり活動が多
くできるようにモデル老連数を3ヶ所から6ヶ所に増やす。

① 6市町村老連

② 1市町村老連あたり：50,000円以内

(2) ろうれんピックの開催

誰もが楽しめるスポーツを通して、交流の輪を広げ、健康と生きがいづくりを推進す
る。

① 開催場所

*3会場

3 若手高齢者・女性会員による老人クラブ活動の活性化 (5,656→5,667千円 11千円)

(1) 若手会員加入・活動促進モデル事業の実施

若手会員のニーズの高い事業を実施し、老人クラブ会員増強と活動の活性化を図る。

① 5市町村老連で実施

② 1市町村老連当たり50,000円以内

(2) 若手高齢者広域スポーツ等交流会の開催

市町村若手委員会の主催による交流会を開催することにより、企画力と指導力を育成
するとともに、広域に参加を呼びかけることで、相互の交流と会員増を図る。

① 実施主体：2市町村老連

② 1市町村老連当たり80,000円以内

(3) 元気ハツラツ&はちきん大会の開催

若手委員と女性委員が企画から運営まで知恵を出し合うとともに、新たな仲間の勧
誘・活動の場として開催する。

(4) 会員増クラブに対する活動費の助成

会員が5人以上増えたクラブに対して活動費を助成する。

① 単位老人クラブ当たり：10,000円以内

② 10単位クラブ分計上

③ 市町村老連経由で協議書提出

(5) 会員パワーアップ研修会の開催

開催地の若手リーダーを中心に企画、運営し、楽しいクラブの作り方や会員増やクラ
ブ解散を防ぐための方法を学ぶ。

＜対象者＞

- ＊市町村老連会長
- ＊単老会長はじめ役員
- ＊女性・若手委員
- ＊将来リーダーとして期待される会員

（６）女性委員会と市町村老連女性委員会交流事業

県老連の女性委員会が市町村の女性委員会と交流会を持ち、活性化につなげていく。

４ 老人クラブ活動の支援（1,938→2,331 千円 393 千円）

ブロック等で行う自主的で多様な活動に対して助成することにより、地域の実情に応じた事業を行うとともに、活力あるクラブづくりを支援する。

（１）老人クラブ活動支援事業の実施

- ①広域支援事業（ブロック別芸能大会、体育大会など）に助成：294 千円

５ 老人クラブ活動の情報提供と啓発（6,267→5,112 千円 △1,155 千円）

（１）広報活動の推進

- ① ホームページでの活動状況の紹介
- ②機関紙の発行

（２）ブロック別会長・事務担当者会

６ブロックで開催

＊クラブ運営の課題や会員増についてグループ討議

６ 法人事業及び管理運営（3,871→3,613 千円 △258 千円）

（１）理事会・評議員会・正副会長会の開催

（２）全国老人クラブ大会（香川県）、中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会（岡山県）等への参加と情報収集

（３）社会参加活動等の推進

- ① 「老人の日・老人週間」の推進
- ② 高齢者交通事故防止活動や高齢消費者被害防止の推進

（４）老人クラブ傷害保険・賠償責任保険、会員章の普及促進

- ① ・傷害保険 ・賠償責任保険 積極的な加入促進活動を！

傷害保険では、令和３年４月始期契約より２４時間型の全てのタイプに「特定感

染症危険補償特約（新型コロナウイルス感染症を含む*）」が追加されます。この改定を契機に更に加入促進を行う。

*今後、政令を踏まえて対象外となる可能性があります。

②会員章の普及

* “仲間のしるし”であるとともに活動資金となる。全会員への普及を目指そう。

（５）会長・事務担当者会の開催

* 令和３年度予算及び事業の内容

* 令和２年度実施アンケート調査結果報告等